

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防対策における
高齢者施設の面会状況に関する考察
～オンライン面会を中心に～

Consideration on visitation status of facilities for the elderly in
preventive measures for new coronavirus infection（COVID-19）
～ Focusing on online visits ～

吉 田 志 保^{*}
YOSHIDA Shiho

Abstract:

The purpose of this study is to clarify the present condition of restrictions on visits and online visits to aged person welfare facility during this COVID-19 situation.

Previous studies have confirmed that although public interest in COVID-19 is high, no research has been conducted on the restrictions on visits at facilities for the elderly nor online visits during the COVID-19 pandemic.

Regarding visitation restrictions, many articles on the infection situation were written, and it was found that there was a lot of interest.

These articles covered more about end-of-life care at hospitals rather than at geriatric facilities.

In addition, it was found that online visits using personal computers, etc. are being used as the current standard for visits at facilities for the elderly.

However, since reservations are required in advance and the time is short, it is necessary to further promote online visits while reducing the burden on the facility side and family, and to create a system that allows people to live with peace of mind.

キーワード：

新型コロナ感染症（COVID-19）、面会制限、オンライン面会、高齢者施設、認知症高齢者

1. はじめに

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界で蔓延し、今だ終息が見えない状況が続いている。病院や高齢者施設等では感染予防対策として、家族等への面会制限が取られている。

しかし心身に病気や障害を持つ高齢者にとって、大切な家族等との面会は精神的な支えであり、このまま面会制限が続く事で利用者の意欲の低下や、認知症の進行も考えられる。

また家族も長期間、面会が出来ない事で心

^{*}佐野日本大学短期大学 総合キャリア教育学科 Sano Nihon University College Senior Lecturer

配や不安や悲しみなどの葛藤と戦っている。

朝日新聞デジタルの2020年4月8日¹⁾によると、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、特別養護老人ホームに入所している認知症の妻との面会が制限されてしまった家族についての記事が掲載されていた。「夫は、長く会えないうちに夫である自分のことを完全に忘れてしまうのではという不安がある。」との事であった。その反面、「最初は忘れないでほしいと願っていたが、今は私が覚えているからそれでいい」と、会えない事や認知症進行の不安から、葛藤を抱え過ごしていた。

記事では面会禁止が避けられない状況の中、LINEのビデオ通話(テレビ電話)や、ガラス越しの面会を始めた施設について紹介されていた。施設の担当者によると、「面会は患者の意欲や気力にもつながる。出来る限りのことをやっていきたい」と話し、これまでの直接の面会とは違う方法での面会について、模索している姿が見られている。

厚生労働省は、2020(令和2)年5月15日に「高齢者施設等におけるオンラインでの面会の実施について」²⁾を示し「オンライン面会」を推奨している。

本研究では高齢者施設の面会状況と、オンライン面会について調査し適切な面会対策について提言する。

II. 研究目的

1. 新型コロナ禍における高齢者施設の「面会制限」や「オンライン面会」について、デジタル新聞記事から、どのような内容でどれくらい取り上げられているのかを明らかにし、高齢者施設の面会状況について、現状と課題について明らかにする。
2. 新型コロナ禍における特別養護老人ホームの面接状況及びオンライン面会の現状を明らかにする。

III. 研究の視点および方法

1. 「CiNii Articles 国立情報学研究所 学術情報ナビゲーター」で、「新型コロナ」+「面会制限」、「新型コロナ」+「オンライン面会」を検索語として検索した。(2021年2月1日現在)
2. 朝日新聞デジタルの新聞記事検索から、「新型コロナ」+「面会制限」、「新型コロナ」+「オンライン面会」について検索した。(2021年2月1日現在)
3. 首都圏にある特別養護老人ホームで、オンライン面会を取り入れている施設をランダムに5施設取り上げホームページを用い、現状や方法について検討した。(2020年8月31日現在)

IV. 倫理的配慮

佐野日本大学短期大学倫理委員会の審査を申請し承認(承認番号第20-03号)を得て実施した。

V. 新型コロナにおける施設の面会状況についての先行研究

1. 「CiNii Articles 国立情報学研究所 学術情報ナビゲーター」で検索「新型コロナ」については、6,852件と関心の高さが伺えたが、検索語に「新型コロナ」+「面会制限」、「新型コロナ」+「オンライン面会」を検索したところ1件という結果であった。
2. 2020(令和2)年8月5日の記事³⁾で、「新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛や面会制限により認知症の人の症状や状態が悪化していたとする調査結果を日本老年医学会と広島大が4日発表した。」

この調査は、入所系医療・介護施設 945 施設および介護支援専門員 751 名がオンライン調査票に回答したもので、広島大⁴⁾によると「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大下において、調査対象の入所系医療・介護施設の約 4 割、介護支援専門員の約 4 割が介護サービスの制限や外出自粛等の感染予防の取組によって、「特に行動心理症状の出現・悪化、認知機能の低下、身体活動量の低下等の影響が見られた。」との調査結果であった。

VI. 研究結果

1. 「CiNii Articles 国立情報学研究所 学術情報ナビゲーター」で検索

「新型コロナ」+「面会制限」、「新型コロナ」+「オンライン面会」を検索した結果、1 件のみであった。その 1 件については、緩和ケア病棟におけるオンライン面会導入についてであり、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の研究は 0 件であった。

このことから、新型コロナについての社会の関心は高いものの、新型コロナ禍における高齢者施設での面会制限やオンライン面会については、研究がなされていないという現状が確認された。

2. 朝日新聞デジタルの新聞記事検索結果

「新型コロナ」+「面会制限」は 87 件、「新型コロナ」+「オンライン面会」は 24 件であった。

なお、朝日新聞デジタルでは、ネット限定での記事にプラスして、同じ記事が紙面掲載記事として二重に投稿されている。そのため、二重に投稿している場合には、ネットと紙面掲載記事の両方（この場合 2 件）としてカウントした。

「面会制限」についての記事の内容として、医療従事者が 4 件（うち、疲弊 1 件、

コロナ偏見 3 件）、介護従事者（支援）が 3 件、感染予防が 3 件、外出自粛が 1 件、ワクチン接種が 1 件、新型コロナ+患者が 1 件、感染状況が 11 件（うち、感染 5 件、クラスター 6 件）、面会制限・要望が 21 件（うち、高齢者施設 4 件、帰省 2 件、認知症 2 件、拘置所・刑務所 10 件、入管収容者 3 件）、面会再開が 4 件（うち、対策 3 件、判断 1 件）、オンライン面会（病院）が 16 件（うち、オンライン面会 3 件、看取り 13 件）、オンライン面会（施設）が 6 件（うち、認知症 3 件、広がるオンライン面会 1 件、家族 2 件）、その他が 11 件の合計 87 件であった。

なお、記事の詳細については、表 1 を参照。

次に、「オンライン面会」についての記事の内容として、オンライン面会 7 件（うち、オンライン面会 2 件、看取り 5 件）、オンライン面会（施設）3 件（うち、広がるオンライン面会 1 件、家族 2 件）、面会制限（高齢者）1 件、面会再開 2 件（うち、対策 1 件、判断 1 件）、感染（クラスター）3 件、その他 8 件の合計 24 件であった。なお、記事の詳細については、表 2 を参照。

3. オンライン面会の現状と方法

首都圏にあるオンライン面会を取り入れている特別養護老人ホーム 5 施設についてランダムに抽出し、ホームページから現状や方法について検討した。

なお高齢者施設面会状況については、表 3 を参照。

また、その内容として、

- (1) 面会制限の時期
 - (2) 実施状況や制限の状況
 - (3) オンライン面会の方法
- について、取り上げた。

共通の事項として、新型コロナ感染症

が日本社会に増えてきた2月末～3月上旬にかけて面会禁止となり、4施設については、4月に入ってオンライン面会を実施していた。

また、オンライン面会については、事前に予約が必要であり、時間も10分から20分と短時間となっていた。

VII. 考察

1. 「CiNii Articles 国立情報学研究所 学術情報ナビゲーター」で検索

先行研究では、新型コロナウイルスに対する「面会制限」や「オンライン面会」についてほとんど研究されておらず、心身に障害を抱える高齢者が、家族や知人との面会を制限されることでのリスクについても、研究が進んでいない現状が明らかとなった。

しかし日本老年医学会と広島大の研究調査から、外出制限や面会制限により影響が見られるとの結果も見られた。特に認知症の方については、認知機能の低下のみならず、身体機能の活動低下など、身体面にも影響が見られた。

高齢者は、短期間でも何もせずQOLが低下することで、急激に心身機能が低下する傾向がみられる。そのため出来る限り楽しみを持ち、生活を活性化する事で、QOLが向上し、心身機能も維持する事が出来るようになる。

新型コロナ感染症拡大が止まらない現状の中で、オンライン面会などを積極的に取り入れ、家族との交流を工夫しながら行う事で、生活の中に楽しみを提供していく必要があるのではないかと考える。

2. 朝日新聞デジタルの新聞記事検索結果

新聞記事の内容から、新型コロナウイルスによる面会制限に関する記事が多く、オンライン面会についての記事は少ない

現状が明らかとなった。

また面会制限については、感染状況についての記事が多く取り上げられ、今だ止まらない感染状況についての関心が高い事が分かった。

面会制限の中でもオンライン面会についての記事では、高齢者施設よりも、病院での終末期における看取りでのオンライン面会について多く取り上げられていた。

人生の最後の場面で、大切な家族に会う事が出来ない事は、大変な苦痛であり、後悔が残る結果となると考える。今回の研究では看取りの問題については主に取り上げていないが、大きな課題であると考ええる。

また高齢者施設におけるオンライン面会については、会えない葛藤について家族の視点から取り上げられていた。直接面会が出来ない中、オンライン面会によって利用者と家族がパソコンなどの画面上で顔を合わせ、話しができる事で、双方向のコミュニケーションを取ることが出来る。心配事について聞く事や、最近の出来事などを伝え合うことで、お互いの安心感につながり、心の支えになるのではないかと考える。

今後は家族の視点にプラスして、当事者である高齢者の思いについても、新聞記事で取り上げていく必要があるのではないかと考える。

3. オンライン面会の現状と方法

新型コロナウイルスによる面会禁止が長引く中で、パソコンやZoom、携帯電話のLINEを用いたオンライン面会を活用している現状が分かった。

しかし事前に予約が必要であり、時間も5分～15分程度と短時間でオンライン面会となっていた。今後は面会が解除となるまでオンライン面会をさらに推進

すると共に、施設側と家族、双方の負担を軽減しつつ少しでも利用者や家族が安心して生活できるような体制づくりが必要であると考ええる。

2020.8.5

4) <https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/59484>

VIII. 今後の課題

今回の研究では、新型コロナ感染症禍における、高齢者施設の面会状況について、オンライン面会を中心に取り上げた。

オンライン面会では、施設・家族共に、事前にパソコン等を設置し、機械を操作する事が必要となる。利用者がそれを一人で行う事は難しく、施設の職員の支援が必要となる。

しかし高齢者施設における人材不足は深刻であり、オンライン面会の支援をおこなう事が負担になっている現状も見られ、家族にも施設側に負担をかけることへの遠慮がみられる。

今後の課題として、お互いに負担を軽減しながら高齢者施設におけるオンライン面会をどのように広げていくのか。新型コロナ感染症が収束するまで、高齢者が安心して楽しく、大切な家族との交流が持てるようにするための方法について考えてきたいと考える。

そのためには、高齢者施設での聞き取り調査や分析が必要となる。今後の課題としたい。

引用文献

- 1) 朝日新聞デジタル, 「(新型コロナ) 面会できない…家族の葛藤 認知症の妻に忘れられても「受け入れたい」」, 2020.4.8
- 2) 厚生労働省「高齢者施設におけるオンラインでの面会の実施について」2020.5.15
- 3) 朝日新聞デジタル「コロナで外出制限、認知機能低下 着替えなど基本的動作にも影響 老年医学会・広島大調査」

表1 朝日新聞デジタルの新聞記事検索（新型コロナ+面会制限）（2021年2月1日）

記事大見出し	記事小見出し	記事タイトル	件数
医療従事者	疲弊	疲弊する医療従事者	1
		北海道の看護師 7割精神的負担 感染恐怖、中傷も	1
	コロナ偏見	コロナいますか 嫌がらせ電話も 中傷に悩む看護師	1
		パンク寸前 コロナとの長い闘い	1
介護従事者	支援	介護継続へ支援強化を	1
		高齢者施設のスタッフもヒーロー 支援届かず手作り奮闘	2
感染予防		お年寄り感染防止	2
		集団感染 特養職員が直面した怖さ	1
外出自粛		熊本外出控えて	1
ワクチン接種		ワクチン接種優先 私たちも 在宅系介護スタッフら訴え	1
新型コロナ+患者		梨田昌孝の生還	2
		新型コロナ 在宅でのケア	1
		ゲーセンで使った1万円 じいちゃんが教えてくれたこと	1
		がんと共に 笠井信輔	2
感染状況	感染	大阪	1
		愛媛初の感染	1
		山形特養職員感染	1
		松山市の病院（愛媛）新型コロナ感染	1
		北海道で感染第2波 なぜおきた	1
		三重の特養でクラスター	1
		三重1日最多の25人感染を確認	1
	クラスター	新潟県内33人感染 介護施設で30人のクラスター発生	1
		新たに22人感染 院内感染クラスター（岩手県）	1
		三重 三豊の病院でクラスター、19人感染	1
		新たに18人感染、2人が死亡 都城市は感染警戒区域に	1
		介護施設面会制限国要望	2
		千葉 介護施設での対応強化	1
		妻に会えず3カ月、老人ホーム 宣言解除後も制限続く	1
面会制限 要望	高齢者施設	介護施設面会制限国要望	2
		千葉 介護施設での対応強化	1
	帰省	里帰り出産控えて	1
		コロナ疎開控えて	1
認知症	認知症の人 コロナ禍で状態悪化 外出自粛など影響か	2	
拘置所・刑務所	拘置所・刑務所 面会制限・制限解除	10	
入管収容者	入管収容者 感染が怖い	3	
面会再開	対策	新型コロナ面会再開 踏み出す介護施設 対策念入りに	1
		高齢者施設などへの面会緩和へ 感染症対策などを条件に	2
	判断	介護施設の面会 条件付き再開、禁止継続 分かれる判断	1
オンライン面会（病院）	オンライン面会	福井 オンライン面会導入 市立敦賀病院	1
		入院中の赤ちゃんに会えない オンライン面会へ寄付募る	1
		小児病棟にオンラインでサンタ	1
	看取り	スマホ越しのサヨナラ（コロナ感染）	2
		最後を見守りたい 願いを阻むコロナ	1
		最後も家族と会えない人がいる	1
		最後会いたい わがままですか 電話だけではつらい	1
		終末期 病院で看取れない	1
		望む最期 話し合いを コロナ禍	2
		病室のベランダ 笑顔の家族写真 緩和ケア現場の模索	1
		看取りの時 やっと会えた母の手は コロナ禍の遠距離介護	2
		ホスピス出て 最後は家族と 背中押したコロナの面会制限	2
		家族の葛藤、認知症の妻 長期化する面会制限	2
		私があなただを覚えています 会えなくなった認知症の妻	1
オンライン面会（施設）	認知症	家族の葛藤、認知症の妻 長期化する面会制限	2
		私があなただを覚えています 会えなくなった認知症の妻	1
	広がるオンライン面会 家族	岐阜 高齢者施設でオンライン面会広がる	1
三重 家族を結ぶ新しい介護 コロナきっかけに工夫進む	1		
コロナ禍を生ききる 超越し 重なる思い	1		
その他		長崎旅客船寄港中止	1
		母の日	1
		会えない人をつなげたい リモート写真展	1
		闘病中の子に笑顔を 道化師の団体	1
		入院中でもバーチャル外出 家族との面会も	1
		長崎 県警音楽隊が慰問	1
		大阪 手紙が生んだ新たな絆 高校生が高齢者に	1
		認知症や家族の人にコロナ予防の工夫を 広島大がパンフレット	1
		長崎県医師会 2度目の危機的状況宣言	1
		コロナ差別 なぜ地元でも	2
		合計	

表2 朝日新聞デジタルの新聞記事検索（新型コロナ+オンライン面会）（2021年2月1日）

記事大見出し	記事小見出し	記事タイトル	件数
オンライン面会（病院）	オンライン面会	福井 オンライン面会導入 市立敦賀病院	1
		入院中の赤ちゃんに会えない オンライン面会へ寄付募る	1
	看取り	最後を見守りたい 願いを阻むコロナ	1
		看取りの時 やっと会えた母の手は コロナ禍の遠距離介護	2
		ホスピス出て 最後は家族と 背中押したコロナの面会制限	2
オンライン面会（施設）	広がるオンライン面会 家族	岐阜 高齢者施設でオンライン面会広がる	1
		秋田 特養でオンライン面会 ばあちゃん元気だあ	1
		重症化しやすい高齢者 、工夫する施設 人手不足の懸念も	1
面会制限	高齢者施設	妻に会えず3カ月、老人ホーム 宣言解除後も制限続く	1
面会再開	対策	新型コロナ面会再開 踏み出す介護施設 対策念入りに	1
	判断	介護施設の面会 条件付き再開、禁止継続 分かれる判断	1
感染	クラスター	突然クラスター 老健施設の1ヶ月	2
		密 避けられぬ 介護の現場 相次ぐクラスター	1
その他		コロナ 遠ざけた親子 離婚・別居の家族 面会中止相次ぐ	2
		風評被害の福祉現場 「コロナに負けるな」動画で応援	1
		埼玉 広がるオンライン活用 高校生徒会選挙も老健でも	1
		両陛下、コロナ禍の介護ねぎらう	1
		手探り看護、重なる原爆直後	2
		母の死 会えなくても距離があっても 阿川佐和子	1
合計			24

表3 高齢者施設面会状況

番号	種別	施設名	面会制限の時期	実施状況や制限の状況	オンライン面会の方法
1	特別養護老人ホーム	A 施設	令和2年2月16～	面会は、1階交流ホールで実施（各お部屋での面会は不可） ・1回の面会時間を概ね、30分までとして下さい ・面会中は、ご入居様もマスクを着用してください 受付で面会カードにご記入後、体温を測って下さい。（併せて、健康状態の申告をお願いします） 発熱や体調が優れない場合は、面会をお断りする場合もあります。	
			令和2年2月27～	緊急時以外 面会禁止	
			令和2年7月1日～	令和2年7月1日より面会制限を緩和 面会は予約制となり、面会場所は地域交流ホール	
			令和2年8月4日～	面会禁止 オンライン面会可能	予約でのガラス越しでの面会（1階玄関） + LINE 電話（5分～10分程度） 施設はタブレットを使用
2	特別養護老人ホーム	B 施設	令和2年2月25日～	受付にて体温計による検温の実施 ・アルコールによる手指消毒 ・マスクのご着用 一部、お立ち入りを制限させていただくエリアがございます、詳しくは、各施設スタッフにお問い合わせください。 体調が優れない場合は、ご面会自粛のこと	
			令和2年2月26～	面会禁止	
			令和2年4月22～ 令和2年3月1日～	オンライン面会 面会禁止	パソコンを使ったテレビ電話
3	特別養護老人ホーム	C 施設	令和2年4月17～	オンライン面会	LINEを使ったオンライン面会 + 双方向 LINE メッセージ 写真や動画を送る機能を使い家族よりお庭に咲いたバラの写真、お孫さん、曾孫さんの動画、ビデオメッセージなど受信。
			令和2年7月1日～	面会再開 デイサービス休館日の【水曜日】【日曜日】のみご面会が可能 1日7組限定の完全事前予約制（20分） ご家族のみ、1回の面会につき2名様まで、ご面会可能 中学生以下の方は不可	

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防対策における高齢者施設の面会状況に関する考察

番号	種別	施設名	面会制限の時期	実施状況や制限の状況	オンライン面会の方法
4	特別養護老人ホーム	D施設	令和2年4月6日～	面会制限 オンライン面会開始	希望者に申込み→①QRコードを貼付けた手紙を家族へ送付、②家族がQRコードを読み取り友達登録、③家族が面会を予約、④予約時間に施設からLINEのビデオ通話をかけ、スマートフォン画面越しに面会(15分程) その他、施設内の日光浴や散歩を増やす
			令和2年6月20日～	予約での条件付き面会開始 面会者に課される面会時の条件 検温の実施 風邪症状の有無など体調の確認 面会者および利用者のマスク着用と飛沫防止シートを使用 面会者の人数と面会時間の制限	
			令和2年8月3日	面会禁止	
			令和2年2月27日～	面会制限	
5	特別養護老人ホーム	E施設	令和2年4月19日～	オンライン面会 (お試し)	現在お試して実施中。テレビ電話や「ZOOM」(ズーム)というアプリを使い、ご自宅や1階ロビーから今月中には面会できるように準備 希望者は、施設にご連絡の上予約
			令和2年4月30日～	オンライン面会開始	面会時間は、10時00分～11時00分と13時00分～17時00分、10分以内で予約制 1階ロビーまたは、自宅から(家族)
			令和2年7月10日	面会開始 場 所：2階、時間：10時00分～11時00分、13時00分～17時00分、完全予約制、1回15分以内 人 数：3名まで(小学生以下は面会不可) 回 数：週1回まで(ご利用者1名に対して) 予約方法：電話予約	
			令和2年7月22日～	面会禁止	

